

令和 2 年度

第 9 回市政モニターアンケート

北九州市内の身近な公園に関するアンケート

北九州市広報室広聴課

目次

I	調査の概要	2
II	市政モニターの構成	2
III	調査結果	3
1	回答者の属性	3
2	身近な公園について	4
(1)	公園の利用頻度	4
(2)	身近な公園の利用目的	6
(3)	身近な公園に対する評価	7
(4)	身近な公園に対する愛着	13
(5)	考察	14
3	維持管理活動について	15
(1)	公園愛護会などの認知度	15
(2)	公園愛護会などの参加頻度	16
(3)	公園愛護会などの参加条件	17
(4)	考察	18
4	総合的な満足度について	19
(1)	総合的な満足度	19
(2)	考察	20
IV	全体考察	20

I 調査の概要

調査対象者	市政モニター 150人
回答者数	130人（回収率 86.7%）
調査実施日	令和3年1月7日から令和3年1月22日
実施方法	調査票による郵送及びインターネット調査
調査実施課	広報室広聴課 Tel582-2527
調査依頼課	建設局緑政課 Tel582-2466

II 市政モニターの構成

区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	150 (100.0%)	66 (44.0%)	84 (56.0%)	区 別			
10歳代	3 (2.0%)	0 (0.0%)	3 (2.0%)	門司区	15 (10.0%)	7 (4.7%)	8 (5.3%)
20歳代	14 (9.3%)	4 (2.7%)	10 (6.7%)	小倉北区	28 (18.7%)	12 (8.0%)	16 (10.7%)
30歳代	21 (14.0%)	10 (6.7%)	11 (7.3%)	小倉南区	31 (20.7%)	14 (9.3%)	17 (11.3%)
40歳代	24 (16.0%)	12 (8.0%)	12 (8.0%)	若松区	13 (8.7%)	6 (4.0%)	7 (4.7%)
50歳代	22 (14.7%)	11 (7.3%)	11 (7.3%)	八幡東区	13 (8.7%)	6 (4.0%)	7 (4.7%)
60歳代	30 (20.0%)	14 (9.3%)	16 (10.7%)	八幡西区	37 (24.7%)	15 (10.0%)	22 (14.7%)
70歳以上	36 (24.0%)	15 (10.0%)	21 (14.0%)	戸畑区	13 (8.7%)	6 (4.0%)	7 (4.7%)

※モニター総数150名のうち郵送モニター36名、ネットモニター114名

※数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は、一致しない場合があります。

III 調査結果

1 回答者の属性

表1 回答者の属性

項目		回答	割合
性別			
男性		60	46%
女性		70	54%
年代			
20歳未満		0	0%
20代		10	8%
30代		8	6%
40代		23	18%
50代		4	3%
60代		26	20%
70歳以上		59	45%
家族構成			
単身世帯		23	18%
夫婦二人の一世帯世帯		47	36%
親と子の二世帯世帯		50	38%
親と子と孫の三世帯世帯		6	5%
その他		4	3%
住まい			
門司区		13	10%
小倉北区		23	18%
小倉南区		27	21%
若松区		12	9%
八幡東区		11	8%
八幡西区		31	24%
戸畑区		13	10%

2 身近な公園について

(1) 市内の公園の利用頻度

① 身近な公園の利用頻度

質問	あなたは、身近な公園（徒歩圏内にある公園）をどのくらいの頻度で利用しますか（当てはまる選択肢 1 つを回答）
----	--

表2 身近な公園の利用頻度（年代別）

	毎日	週に数回	月に数回	年に数回	ほとんど利用しない
◆全体	1 (1%)	3 (2%)	32 (25%)	30 (23%)	64 (49%)
◆年代別					
20代	0 (0%)	0 (0%)	5 (50%)	2 (20%)	3 (30%)
30代	0 (0%)	0 (0%)	3 (38%)	2 (25%)	3 (38%)
40代	0 (0%)	0 (0%)	5 (22%)	1 (4%)	17 (74%)
50代	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (25%)	3 (75%)
60代	0 (0%)	2 (8%)	4 (15%)	6 (23%)	14 (54%)
70歳以上	1 (2%)	1 (2%)	15 (25%)	18 (31%)	24 (41%)

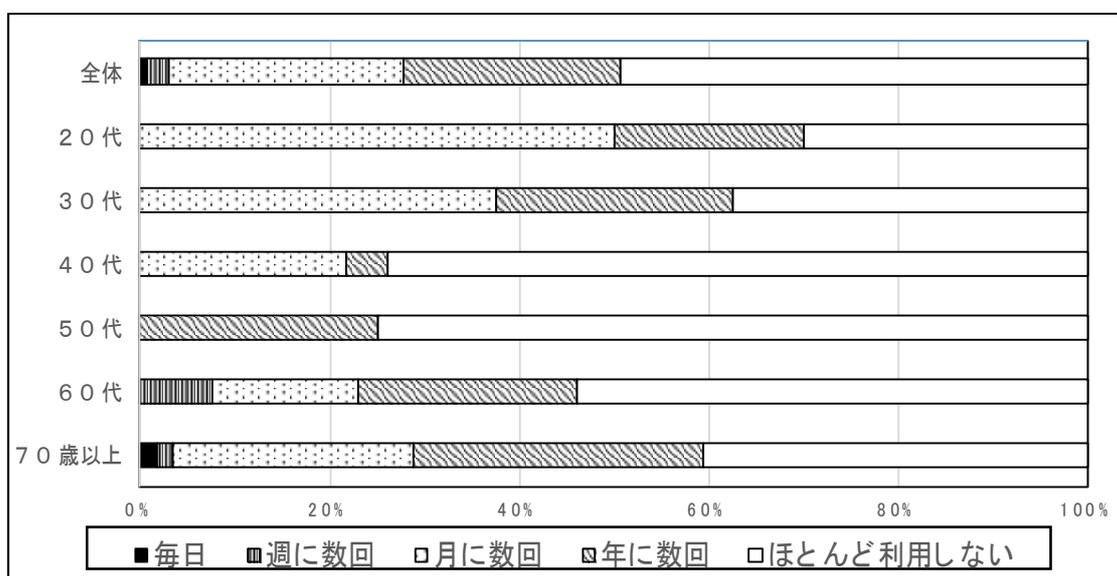


図1 身近な公園の利用頻度（年代別）

② 市内にある公園の利用頻度

質問	あなたは、その他の市内にある公園をどのくらいの頻度で利用しますか（当てはまる選択肢 1 つを回答）
----	---

表3 市内にある公園の利用頻度（年代別）

	毎日	週に数回	月に数回	年に数回	ほとんど利用しない	無回答
◆全体	0 (0%)	6 (5%)	20 (15%)	50 (38%)	53 (41%)	1 (1%)
◆年代別						
20代	0 (0%)	0 (0%)	3 (30%)	4 (40%)	3 (30%)	0 (0%)
30代	0 (0%)	0 (0%)	2 (25%)	2 (25%)	4 (50%)	0 (0%)
40代	0 (0%)	3 (13%)	4 (17%)	6 (26%)	10 (43%)	0 (0%)
50代	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (75%)	1 (25%)	0 (0%)
60代	0 (0%)	1 (4%)	4 (15%)	12 (46%)	9 (35%)	0 (0%)
70歳以上	0 (0%)	2 (3%)	7 (12%)	23 (39%)	26 (44%)	1 (2%)

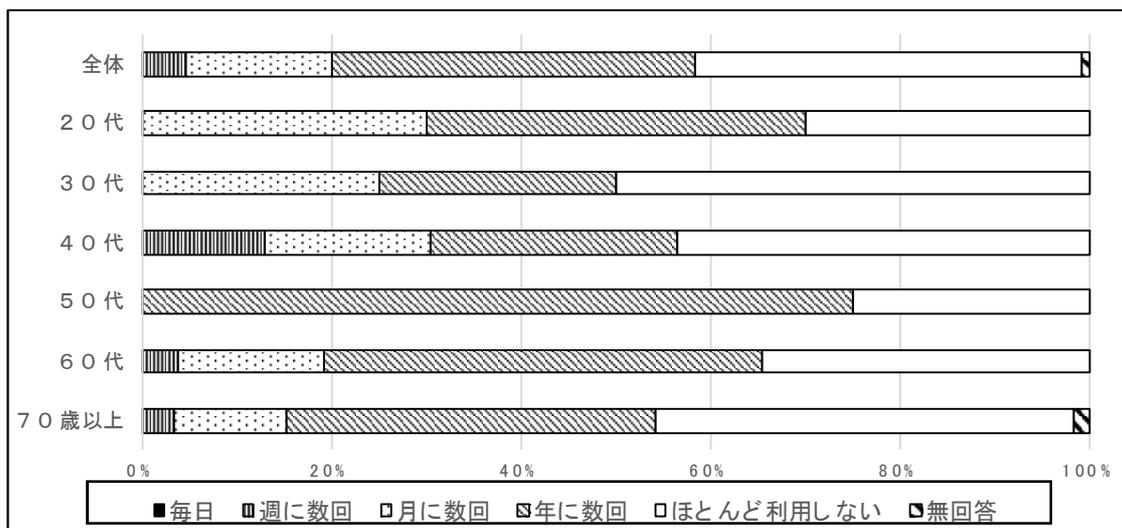


図2 市内にある公園の利用頻度（年代別）

公園の利用頻度について、全体としては、身近な公園並びに、市内の公園で、「ほとんど利用しない」と回答した割合がそれぞれ49%、41%と最も高かった。

(2) 身近な公園の利用目的

質問	あなたが、身近な公園を利用する目的は何ですか（当てはまる選択肢 1 つを回答）
----	---

表4 身近な公園の利用目的（年代別）

	健康増進活動	自然とのふれあい	軽微な運動	休息・リラックス	地域交流活動	ペットの散歩	その他	無回答
◆全体	29 (22%)	12 (9%)	10 (8%)	39 (30%)	2 (2%)	10 (8%)	24 (18%)	4 (3%)
◆年代別								
20代	1 (10%)	1 (10%)	1 (10%)	7 (70%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
30代	0 (0%)	1 (13%)	1 (13%)	4 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (25%)	0 (0%)
40代	6 (26%)	1 (4%)	8 (35%)	0 (0%)	1 (4%)	1 (4%)	6 (26%)	0 (0%)
50代	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (75%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (25%)	0 (0%)
60代	4 (15%)	4 (15%)	0 (0%)	11 (42%)	0 (0%)	4 (15%)	3 (12%)	0 (0%)
70歳以上	18 (31%)	5 (8%)	0 (0%)	14 (24%)	1 (2%)	5 (8%)	12 (20%)	4 (7%)

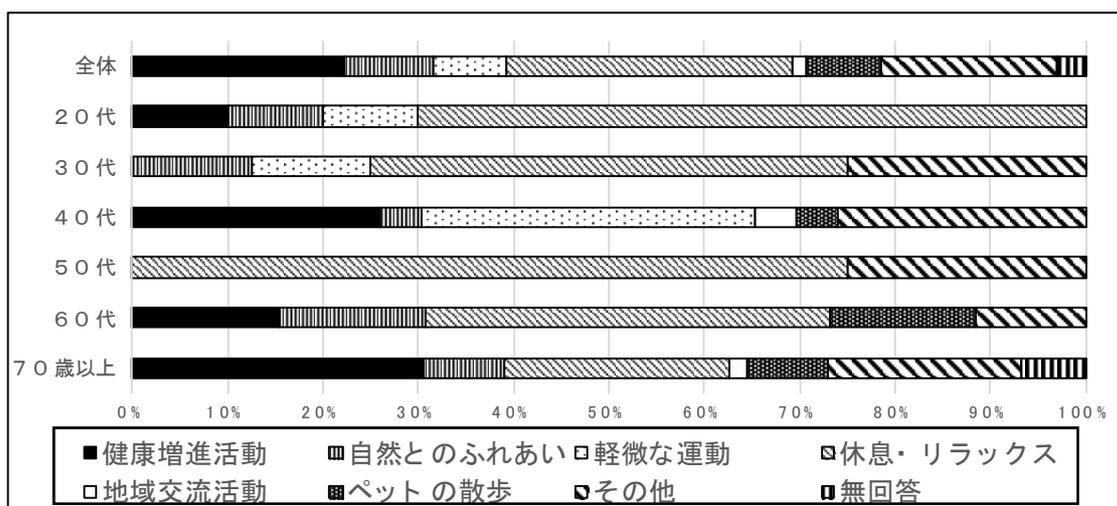


図3 身近な公園の利用目的（年代別）（複数回答）

身近な公園の利用目的について、全体としては、「健康増進活動」や「休息・リラックス」を目的とした割合が高く、年代別にみると、40代以下では「軽微な運動」を目的とした回答も多くみられた。

(3) 身近な公園に対する評価

① 身近な公園の満足度

質問	あなたは、身近な公園に満足していますか（当てはまる選択肢 1 つを回答）
----	--------------------------------------

表5 身近な公園の満足度（年代別）

	とても そう思う	そう思う	どちら でもない	そう 思わない	全くそう 思わない	分からない	無回答
◆全体	13 (10%)	50 (38%)	29 (22%)	19 (15%)	9 (7%)	9 (7%)	1 (1%)
◆年代別							
20代	2 (20%)	1 (10%)	4 (40%)	0 (0%)	2 (20%)	1 (10%)	0 (0%)
30代	0 (0%)	2 (25%)	4 (50%)	2 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
40代	3 (13%)	6 (26%)	5 (22%)	5 (22%)	1 (4%)	3 (13%)	0 (0%)
50代	0 (0%)	1 (25%)	2 (50%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
60代	0 (0%)	14 (54%)	4 (15%)	5 (19%)	1 (4%)	2 (8%)	0 (0%)
70歳以上	8 (14%)	26 (44%)	10 (17%)	6 (10%)	5 (8%)	3 (5%)	1 (2%)

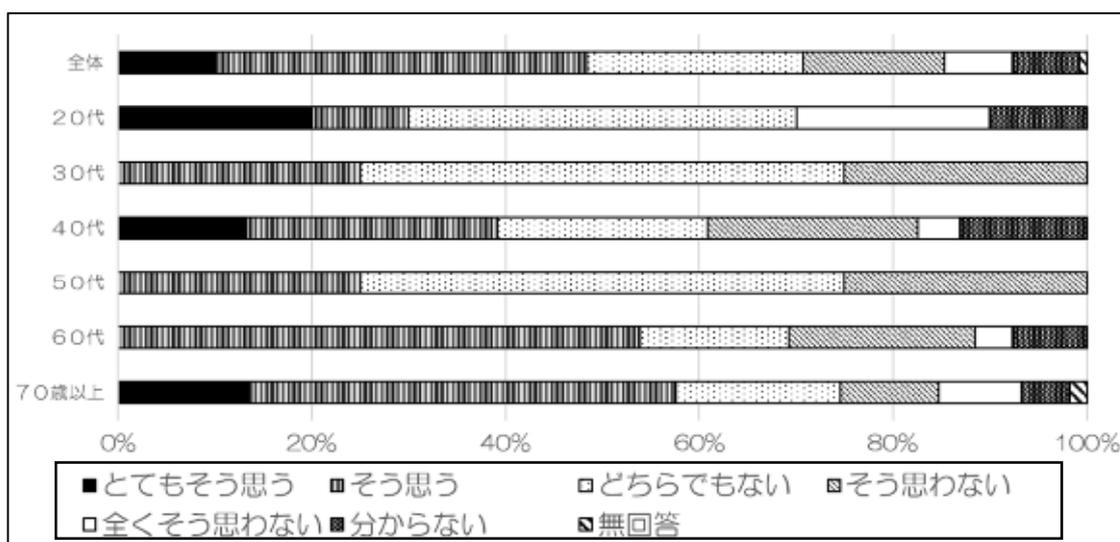


図4 身近な公園の満足度（年代別）

② 身近な公園のみどりの充足度

質問	あなたは、身近な公園のみどりは十分だと感じますか(当てはまる選択肢1つを回答)
----	---

表6 身近な公園のみどりの充足度(年代別)

	とても そう思う	そう思う	どちら でもない	そう 思わない	全くそう 思わない	分からない	無回答
◆全体	17 (13%)	60 (46%)	27 (21%)	17 (13%)	3 (2%)	4 (3%)	2 (2%)
◆年代別							
20代	1 (10%)	1 (10%)	5 (50%)	3 (30%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
30代	0 (0%)	5 (63%)	2 (25%)	1 (13%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
40代	5 (22%)	7 (30%)	5 (22%)	5 (22%)	0 (0%)	1 (4%)	0 (0%)
50代	0 (0%)	1 (25%)	2 (50%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
60代	3 (12%)	15 (58%)	4 (15%)	3 (12%)	1 (4%)	0 (0%)	0 (0%)
70歳以上	8 (14%)	31 (53%)	9 (15%)	4 (7%)	2 (3%)	3 (5%)	2 (3%)

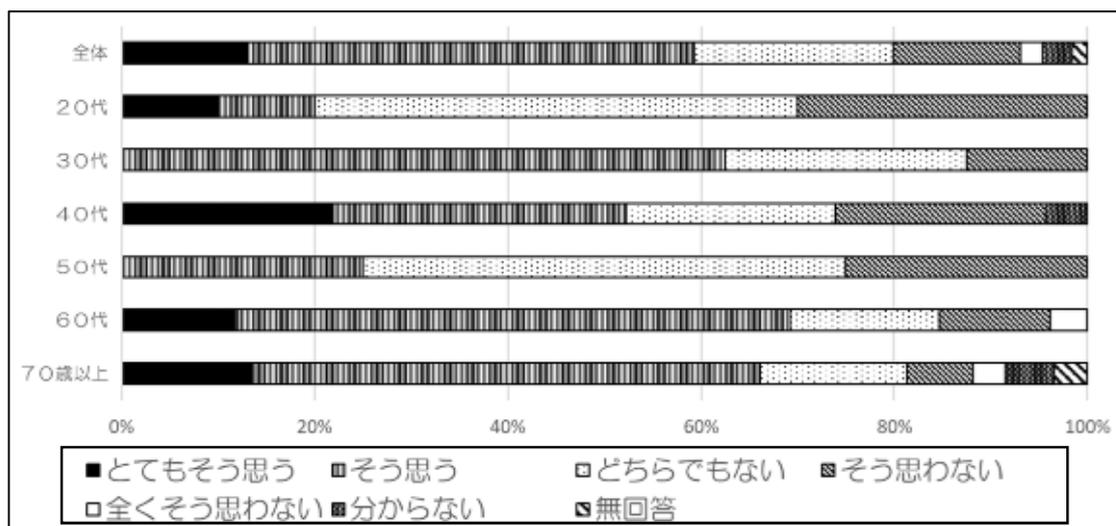


図5 身近な公園のみどりの充足度(年代別)

質問	前問について、「そう思わない」「全くそう思わない」と回答した理由（当てはまる選択肢すべてに回答）
----	--

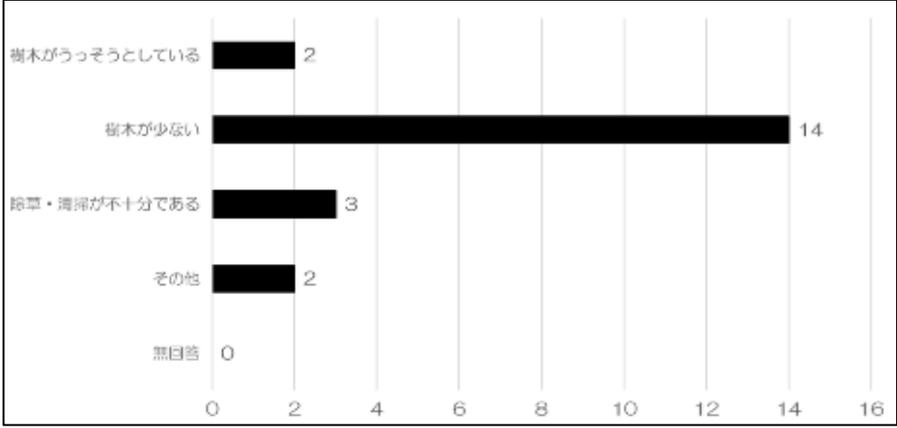


図6 身近な公園のみどりが充足していない理由

③ 身近な公園の施設の充足度

質問	あなたは、身近な公園の施設は十分だと感じますか（当てはまる選択肢 1 つを回答）
----	--

表7 身近な公園の施設の充足度（年代別）

	とても そう思う	そう思う	どちら でもない	そう 思わない	全くそう 思わない	分からない	無回答
◆全体	13 (10%)	37 (28%)	24 (18%)	40 (31%)	6 (5%)	9 (7%)	1 (1%)
◆年代別							
20代	1 (10%)	0 (0%)	3 (30%)	5 (50%)	0 (0%)	1 (10%)	0 (0%)
30代	0 (0%)	1 (13%)	1 (13%)	5 (63%)	0 (0%)	1 (13%)	0 (0%)
40代	2 (9%)	7 (30%)	3 (13%)	9 (39%)	0 (0%)	2 (9%)	0 (0%)
50代	0 (0%)	0 (0%)	2 (50%)	2 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
60代	1 (4%)	6 (23%)	8 (31%)	7 (27%)	3 (12%)	1 (4%)	0 (0%)
70歳以上	9 (15%)	23 (39%)	7 (12%)	12 (20%)	3 (5%)	4 (7%)	1 (2%)

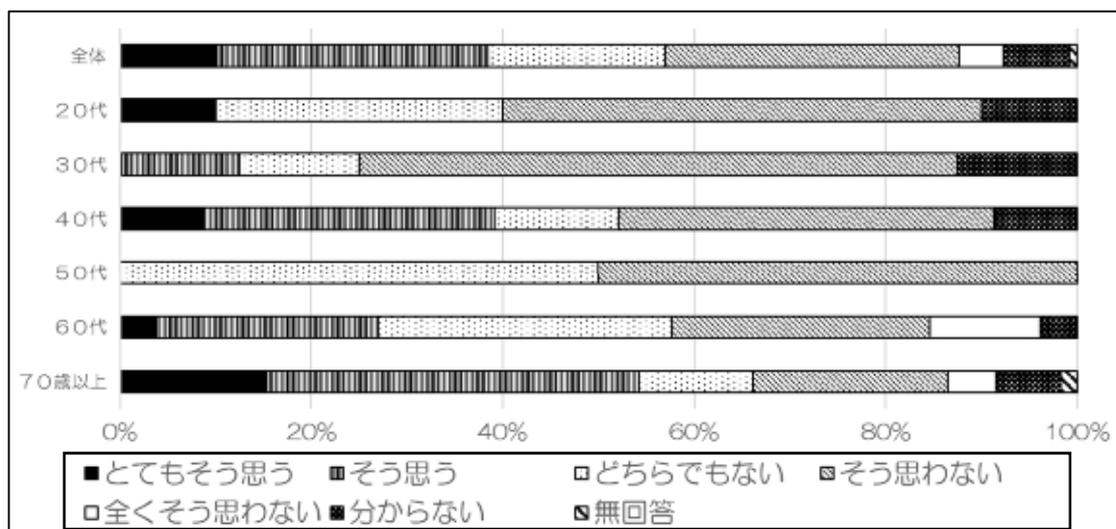


図7 身近な公園の施設の充足度（年代別）

質問	前問について、「そう思わない」「全くそう思わない」と回答した理由（当てはまる選択肢すべてに回答）
----	--

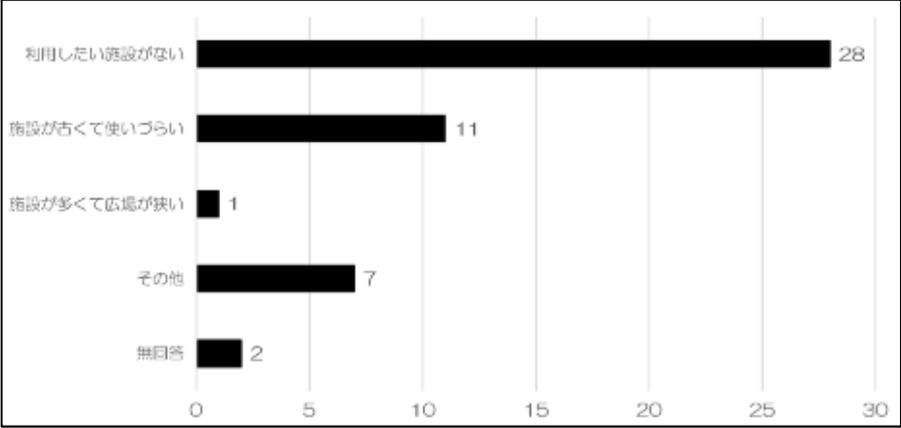


図8 身近な公園の施設が充足していない理由

【身近な公園の満足度】

全体としては、半数近くが「とてもそう思う（とても満足している）」または「そう思う（満足している）」と回答しており、年代別にみると、60代及び70歳以上では、半数以上が「とてもそう思う（とても満足している）」または「そう思う（満足している）」と回答していた。

【身近な公園のみどりの充足度】

全体としては、半数以上が「とてもそう思う（とても十分だと感じる）」または「そう思う（十分だと感じる）」と回答していた一方、全体の15%が「そう思わない（十分だと感じない）」または「全くそう思わない（全く十分だと感じない）」と回答しており、その理由としては「樹木が少ない」が最も多かった。

【身近な公園の施設の充足度】

全体的としては、「そう思わない（十分だと感じない）」と回答した割合が最も高く、その理由としては「利用したい施設がない」が最も多く、次いで「施設が古くて使いづらい」であった。年代別にみると、70歳以上の半数以上が「とてもそう思う（とても十分だと感じる）」または「そう思う（十分だと感じる）」と回答していた。

(4) 身近な公園に対する愛着

質問	ここまでの質問を踏まえて、あなたは市内の身近な公園に愛着を感じますか（当 てはまる選択1つを回答）
----	--

表8 身近な公園に対する愛着（年代別）

	とても そう思う	そう思う	どちら でもない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答
◆全体	18 (14%)	50 (38%)	40 (31%)	21 (16%)	1 (1%)	0 (0%)
◆年代別						
20代	1 (10%)	3 (30%)	3 (30%)	3 (30%)	0 (0%)	0 (0%)
30代	0 (0%)	4 (50%)	4 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
40代	2 (9%)	9 (39%)	6 (26%)	6 (26%)	0 (0%)	0 (0%)
50代	0 (0%)	2 (50%)	1 (25%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)
60代	5 (19%)	10 (38%)	8 (31%)	3 (12%)	0 (0%)	0 (0%)
70歳以上	10 (17%)	22 (37%)	18 (31%)	8 (14%)	1 (2%)	0 (0%)

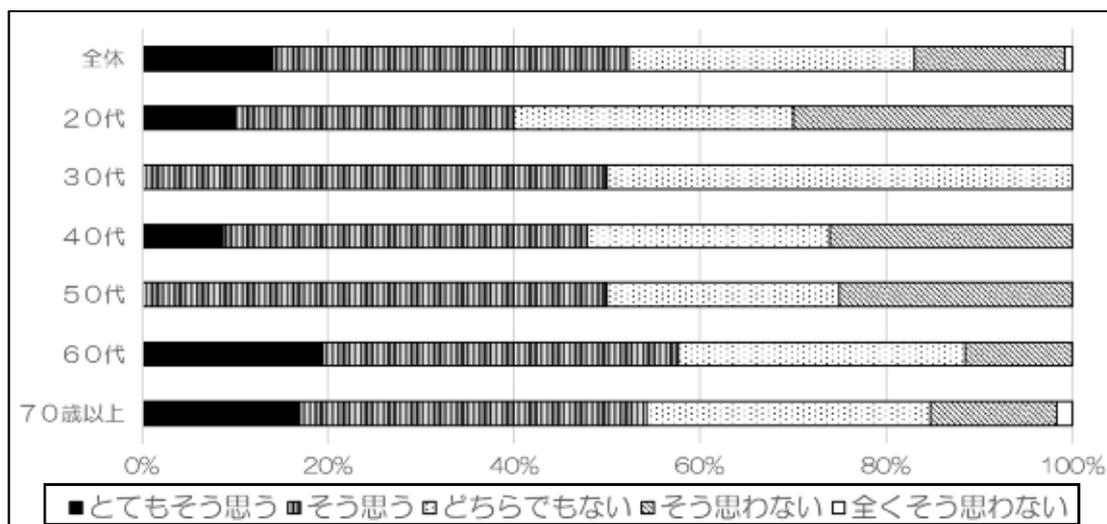


図9 身近な公園に対する愛着（年代別）

身近な公園に対する愛着について、全体としては、半数以上が「とてもそう思う（とても愛着がある）」または「そう思う（愛着がある）」と回答していました。また、年代別にみると、いずれの世代も4割以上が「とてもそう思う（とても愛着がある）」または「そう思う（愛着がある）」と回答しており、概ね同様の傾向を示した。

(5) 考察

回答者の年代別に公園の利用形態をみると、30代以下では「休息・リラックス」を目的に、「月に数回」利用する割合が高く、60代以上では「休息・リラックス」及び「健康増進活動」を目的に、「年に数回」利用する割合が高いことが分かりました。

公園に対する評価をみると、30代以下では、回答者の3割程度が身近な公園に満足していますが、半数以上は公園の施設は十分と感じておらず、その理由として、多くが「利用したい施設がない」と回答していました。一方、60代以上では、半数以上が身近な公園に満足しており、公園の施設を十分と感じていないと回答した割合は4割程度で、30代以下と比べると低く、公園のみどりについても7割程度が十分だと感じると回答していました。また、いずれの世代も半数程度は、身近な公園について「愛着がある」と回答していました。

一般的に、30代前後は、子育てに関与する世代であり、子どもの外遊びの一環として公園を利用する頻度が高いと考えられます。更に、そのような利用にあたっては、幼児を対象とした遊具、日よけや休息のためのパーゴラや休憩舎などの公園施設が必要とされることが考えられます。本調査結果によると、現在の身近な公園には、そのような世代のニーズに対応した利用環境が十分に整えられていないことが分かりました。

一方、60代以上では、少ない頻度で健康増進を目的に公園を利用している割合が高いことから、30代以下に比べて、日常的な利用をしていないことが分かりました。しかし、60代以上では、その他の世代に比べて、公園施設や公園の“みどり”に対する満足度が高く、既存の利用環境が、概ね利用ニーズを満たしていることが分かりました。

以上より、世代の違いによって、利用環境へのニーズが異なることが明らかになりました。一つの限られた空間で、あらゆる世代のニーズを満たした整備を行うことは困難であることから、今後は、計画の段階から多世代の意見を聴取する、もしくは、一定のエリア内の複数の公園を一体的に計画し、場所によって機能分担を図るなどの取組を行い、世代やニーズの違いを把握し計画に反映し、愛着のある空間づくりに取組むことが必要だと考えられます。

3 維持管理活動について

(1) 公園愛護会などの認知度

質問	あなたは公園愛護会など、公園の維持管理活動を行っている団体を知っていますか (当てはまる選択肢 1 つを回答)
----	--

表9 公園愛護会などの認知度（年代別）

	知っている	知らない
全体	45 (35%)	85 (65%)
20代	1 (10%)	9 (90%)
30代	1 (13%)	7 (88%)
40代	4 (17%)	19 (83%)
50代	1 (25%)	3 (75%)
60代	7 (27%)	19 (73%)
70歳以上	31 (53%)	28 (47%)

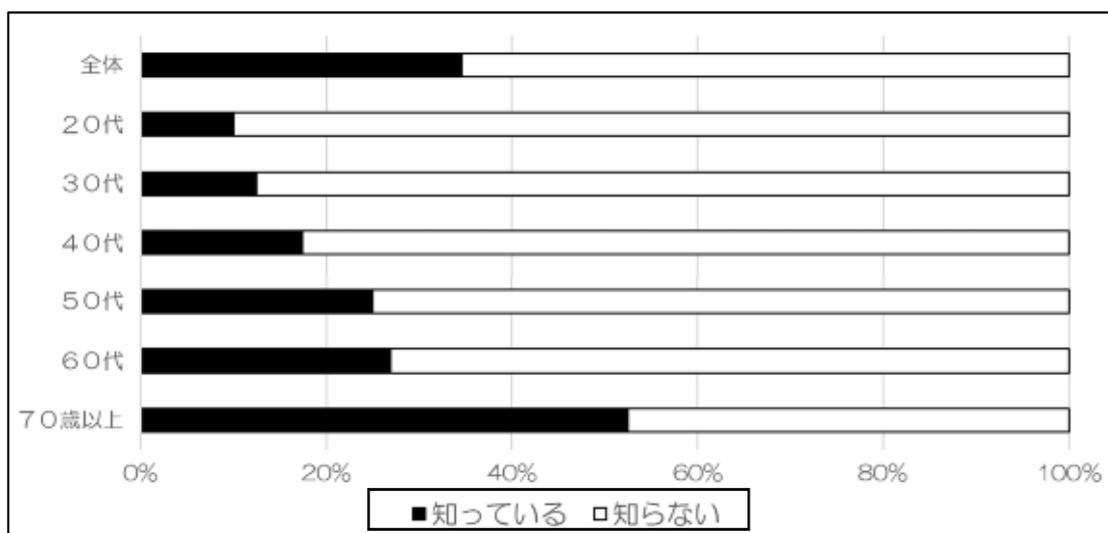


図10 公園愛護会などの認知度（年代別）

公園愛護会などの認知度について、全体としては「知らない」と回答した割合が65%で、「知っている」と回答した割合より高かった。年代別にみると、20代から70歳以上へと年代が進むに従って「知っている」割合が上昇し、70歳以上では「知っている」割合が半数以上であった。

(2) 公園愛護会などの参加頻度

質問	前問の【公園愛護会などの認知度】について、「知っている」と回答された方にお聞きします。その活動にはどのくらいの頻度で参加していますか（当てはまる選択肢1つを回答）
----	---

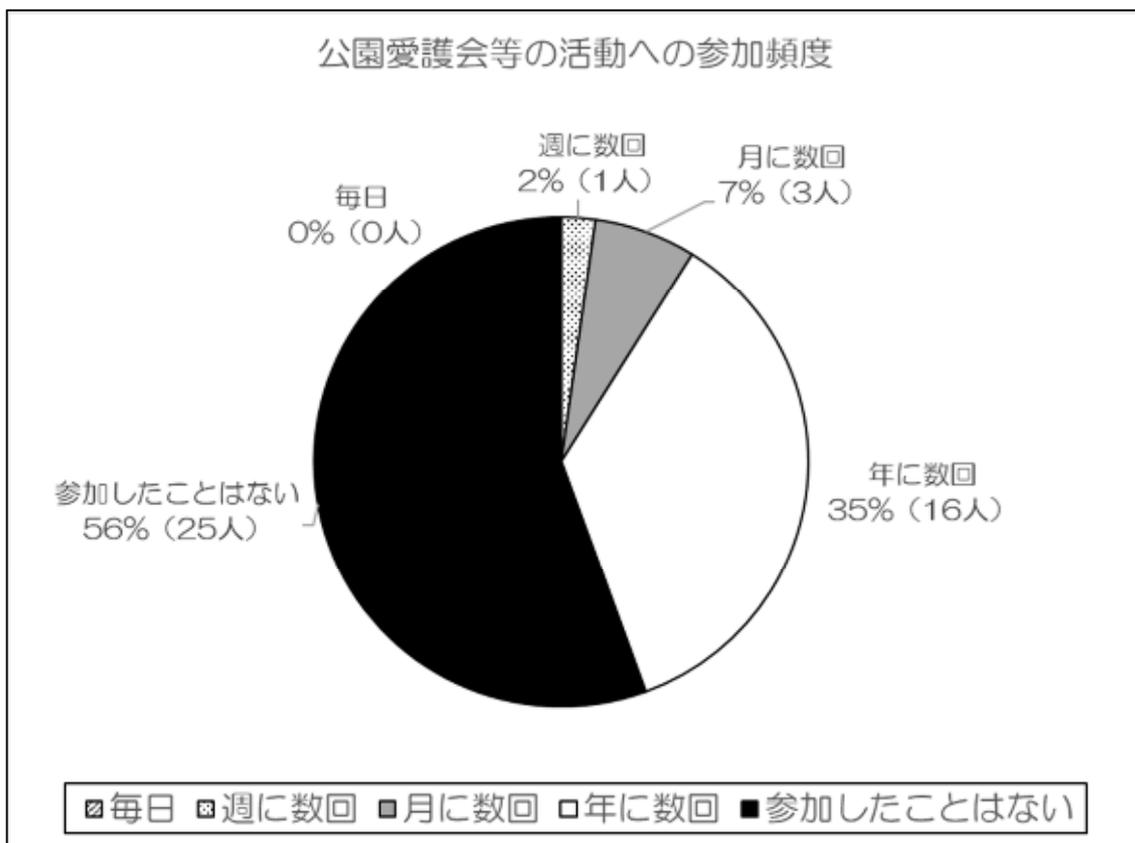


図11 公園愛護会などの参加頻度 (n=45)

公園愛護会などの参加頻度について、前問の【公園愛護会などの認知度】に対して「知っている」と回答した45人の内、そのような活動に「参加したことはない」と回答した割合が、半数以上で最も高かった。

(3) 公園愛護会などの参加条件

質問	前問の【公園愛護会などの参加頻度】について、「参加したことはない」と回答された方にお聞きします。そのような管理活動について、どのような内容であれば参加してみたいと思いますか（当てはまる選択肢すべてを回答）
----	--

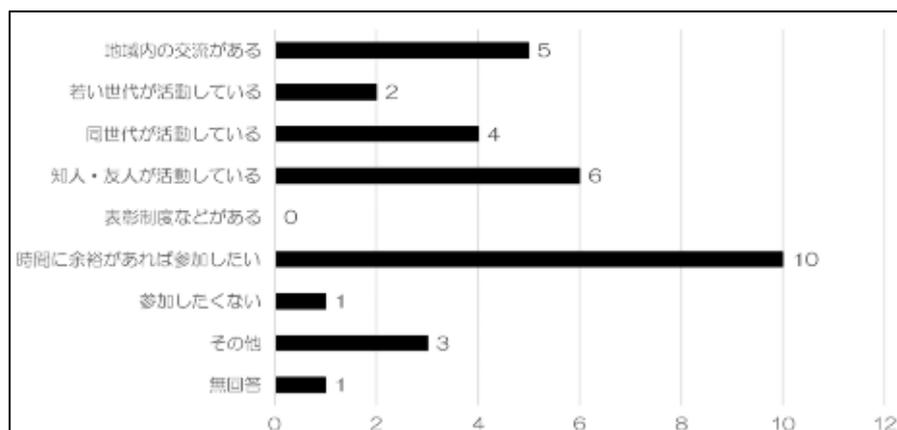


図12 公園愛護会などの参加条件 (n=25 複数回答)

公園愛護会などの参加条件について、前問の【公園愛護会などの参加頻度】に対して「参加したことはない」と回答した25人の内、そのような活動の参加条件としては、「時間があれば参加したい」との回答が最も多かった。

(4) 考察

公園愛護会などの参加頻度について、半数以上が「参加したことはない」と回答しており、その条件としては、「時間に余裕があれば参加したい」との回答が多かったことから、短時間で行える取組づくりなど、条件次第で、新規の参加者を見込める可能性があることが分かりました。

次いで、「地域内の交流がある」や「知人・友人が活動している」ことを参加条件とした回答が多く、今後は、地域コミュニティの形成やそのような活動を支援できる仕組みづくりが期待されていることが考えられます。

さらに、公園愛護会などの認知度をみると、全体の6割以上が「知らない」と回答していました。年代別にみると、若年層から高齢層に従って、認知度が上昇する傾向にありますが、「知っている」と回答した割合は、40代以下で2割程度、70歳以上でも半数程度でした。

一部の公園愛護会などでは、メンバーの高齢化によって、継続的な活動が困難な状況に陥っている団体も顕在化してきており、まずは、そのような管理団体の存在を一般に認識してもらう必要があることが分かりました。

今回の調査結果によると、公園愛護会などの維持管理活動については、その「認知度」が大きな課題であることが明らかになりました。「時間があれば」や「地域内の交流」など、一定の条件次第では参加しても良いとの回答も見られることから、さらなる公園管理活動の活性化にあたっては、各団体が効果的に各々の活動内容を広報する取組を行うとともに、行政も協働して、公園愛護会などの維持管理活動が広く市民に認知されるような取組を進めることが必要であると考えられます。

4 総合的な満足度について

(1) 総合的な満足度

質問	ここまでの質問を踏まえて、あなたは市内全体のみどりに満足していますか（当てはまる選択肢 1 つを回答）
----	---

表10 市内のみどりの総合的な満足度（年代別）

	非常に満足している	満足している	どちらでもない	不満である	非常に不満である
◆全体	9 (7%)	68 (52%)	35 (27%)	16 (12%)	2 (2%)
◆年代別					
20代	1 (10%)	4 (40%)	3 (30%)	1 (10%)	1 (10%)
30代	0 (0%)	3 (38%)	3 (38%)	2 (25%)	0 (0%)
40代	1 (4%)	11 (48%)	9 (39%)	2 (9%)	0 (0%)
50代	0 (0%)	1 (25%)	2 (50%)	1 (25%)	0 (0%)
60代	3 (12%)	15 (58%)	3 (12%)	4 (15%)	1 (4%)
70歳以上	4 (7%)	34 (58%)	15 (25%)	6 (10%)	0 (0%)

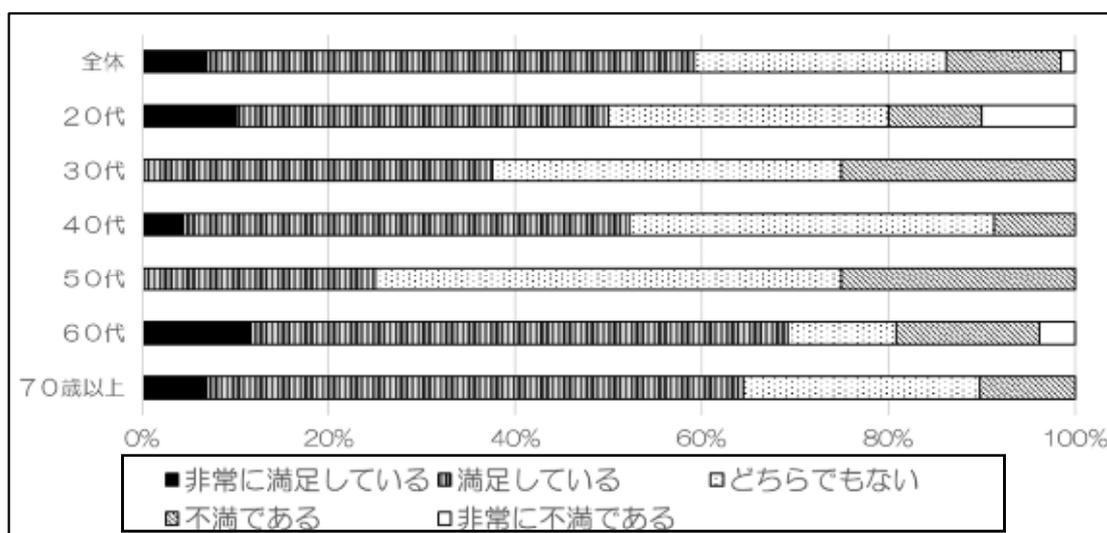


図13 市内のみどりの総合的な満足度（年代別）

総合的な満足度について、全体としては、半数以上が「非常に満足している」または「満足している」と回答していた。特に、年代別にみると、60代及び70歳以上で、6割以上が「非常に満足している」または「満足している」と回答していた。

(2) 考察

市内のみどりに対する総合的な満足度については、全体としては6割程度が「非常に満足している」または「満足している」と回答していますが、世代間でその評価にバラツキがみられました。

総合的な満足度について、年代によるバラツキがどの程度の影響を与えているかは、さらなる分析の余地があると考えられますが、全体の6割程度が満足していることから、総合的な満足度のさらなる向上には、それに影響する要因を明らかにし、その要因の改善及び意識の向上に取組むことが必要だと考えられます。

IV 全体考察

本市では、令和3年度に、市内の公園緑地事業の根幹となる緑の基本計画（以下、「基本計画」）の改定を予定しており、令和12年度を目標に、基本計画に基づいた適切なみどりづくりに取り組めます。基本計画の策定にあたって、都市緑地法に基づき、市民の多様な意見を反映させるため、本アンケート調査を実施しました。

全体的な傾向としては、回答者は概ね、市内のみどりについて満足しており、身近なみどりに一定程度の愛着を抱いていることが分かりました。しかしながら、その利用環境には一部で不満があり、その理由として、近年のライフスタイル等の変化によって既存の利用環境が利用者の新たな利用ニーズに適合していないためだと考えられました。

今回の調査結果については、今後の公園緑地行政の参考とさせていただくとともに、本調査内容については、継続調査を行い、みどりに対する市民意識の変化を評価することで、今後の適切な市政運営への活用を図ります。

【市政モニターに関すること】

広報室広聴課（582-2527）

【アンケートに関すること】

建設局公園緑地部緑政課（582-2466）